

kein Abschied

pct7996JAF

Ref. ②

131 A 7
(104 G 3)

特 許 庁

實用新案出願公告

實用新案公報

昭27-1178

公告 昭 27.2.12 出願 昭 25.6.16 實願 昭 25-11783

出願人 考案者 杉 本 豊 治 東京都目黒區中目黒1の7

(全2頁)

装 飾 用 凹 凸 廻 折 格 子

圖 面 の 略 解

圖面はこの實用新案の廻折格子の構造を概念的に示す超擴大模式圖であつて、第1圖は部分断面圖、第2圖は片側格子表面に透明な被覆層を施されたものの部分断面圖、第3圖は格子の兩側が透明な被覆層なるものの部分断面圖である。

實用新案の性質、作用及效果の要領

この實用新案は光を廻折するための格子2'を有する格子面2に規則的、不規則的、字形的、圖形的、象形的、意匠圖案的、等の任意の形の浮彫狀沈彫狀凹凸、起伏、しわ、ひだ等を與へて之を欲する適宜の形と度合（傾斜、角度、高低、大小、長短等）に凹凸ならしめた裝飾用等の人工廻折格子（1及3）の構造に係る。

圖面に於て1,3は廻折格子を構成又は保持する材料、2'は光を廻折する格子、2は格子2'が形成する格子面、3は格子2'乃至格子面2に對する被覆層を示す、然して各部分及び凹凸起伏の角度、高低、大きさ、擴大倍率及び相互間の比率等は不同であつて、圖は單に構造の態容の概念を例示す。

この實用新案に係る廻折格子を構成乃至保持する材料としては各種の高分子物、合成樹脂、可塑物、金屬、金屬化合物、硝子、珪瑯、陶磁質等適宜の材料が用ゐられる。

この實用新案に係る廻折格子は裝飾、意匠、工藝、演出、展示、標示、信號等の諸種の用途、企畫、製作に對して利用又は使用せられる、然してこの廻折格子は或は工作用銑成材料として製造供給せられ、或は之を使用加工して目的の物品物體企畫造營等を製作し、或は貼着、膠着、蠟着け、封じ込み其他の手段によつて目的の物品物體に施し装着し、或は又目的の物品物體を製造又は加工する際その全域又は一部にその本體又は面の形成（燒成、鑄造、壓縮成形、射出成形、型押し、塗裝等によりて）と同時にその物の構成物質を以て本體自體又は面自體として目的の物そのものにこ

の廻折格子を形成（轉寫複製等によつて形成）現出させる如くして活用せられる。即ち任意適當の施工手段或は形成過程を通じて任意の企畫、造營或は家具什器文具裝身具裝飾品皮革製品合成樹脂可塑物成形品、陶磁器、七寶金屬製品其他種種種多の物品物體に利用され或は施されてそれらを飾る。即ちこの實用新案は光の廻折分光現象を裝飾的標示的等の目的に利用せる物品物體が何であらうともそこに存在し利用されてゐる人工廻折格子の中で光を廻折する格子乃至格子面がこの登録請求の範圍等に記される特徴の範圍内に於て凹凸起伏してゐる構造を有する廻折格子全てを包含する。

この實用新案に係る廻折格子に光が照射する時はその格子2'乃至格子面2の傾斜、凹凸、角度等に應じて光は異なる種々の方向角度に廻折分光して放射（反射又は透射）して、そのスペクトル中の異なる波長の色光が同時に同じ方角へ放射する即ち種々の色光は互に交錯し來り、この廻折格子の面は恰も大小無數の寶石をちりばめた如く多彩に眩しく光り輝く、又光源或はこの廻折格子を動かせば廻折放射する多彩の色光は躍動する如くに見え名狀し難い能動的（メツナミック）な美觀を呈する。

この實用新案の廻折格子の呈する美しさは孔雀の羽玉蟲の廻螺鈿の比に非ず又單純な平面或は單一凹球面の廻折格子から生じる單調なスペクトルからは遙かに想像を超えた美觀である、この實用新案に係る廻折格子は殊更なる彩色（勿論有色の被覆層其他によつて着色する事は可能且つ自由である）又は色光照射（勿論色光で照らしても宜しい）を要せず單なる白色光以て七彩の虹光を生じて交錯放射し極めて變幻幻想的な特異の裝飾的美的效果を發揮する。

登 録 請 求 の 範 圍

圖面に示す如く光を廻折する格子2'を有する格

(2)

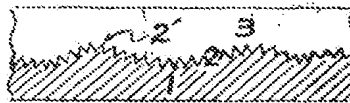
實用新案出願公告
昭27-1178

子面 2 を任意適宜の形と度合に凹凸起伏ならしめ た裝飾用凹凸廻折格子の構造

第 1 圖



第 2 圖



第 3 圖

